

# 植物ゲノム・遺伝子源解析センター

## 月例セミナー

とき 平成23年4月22日(金)  
16時～17時  
ところ 農学部 BW106講義室(大講義室)

### 題目

「シクラメン花色発現の遺伝的・環境的制御」

### 講師

農学部教授 高村 武二郎 博士

### 概略

日本で最も主要な鉢花の一つであるシクラメン (*Cyclamen persicum* Mill.) の花色は、1980年頃までは赤、紫、白、およびそれらの中間色に限られていたが、80年代に黄色の花が発見されて以来、緑色や色変わりの花が作出され、現在では青紫色の花も確認されている。花色は、シクラメンだけでなく、多くの花きにとって重要形質の一つであり、近年では多くの花きにおいて花色素生成関連遺伝子の単離同定がなされるとともに、いくつかの花きでは、細胞内のpH、生育時の光や温度など、植物生体内外の諸要因が花色に与える影響も明らかになってきている。これらの研究は、遺伝子組換え等を利用した花き育種の進展と高品質花きの安定生産技術の開発に寄与するものであるが、シクラメンにおいては不明な点が多く残されている。

演者らは、これまでにシクラメンの花色発現のメカニズムおよびその遺伝様式について研究を行ってきた。本講演では、演者らのこれまでの研究を中心に、シクラメンの花色発現を制御する諸要因について紹介する。

### 参考文献

Takamura, T. : Cyclamen, Flower Breeding & Genetics: Issues, challenges, and opportunities for the 21st century (N. O. Anderson ed.), 459-478, Springer-Verlag, Dordrecht (2006)

主催：香川大学農学部 植物ゲノム・遺伝子源解析センター  
(<http://www.ag.kagawa-u.ac.jp/phytogene/index.html>)